

低温科学研究所研究集会「寒冷圏フィールドワークの課題と展望」

日時 1/6 14時～1/7 12時

### プログラム暫定案

1/6 14:00-14:10

開会の趣旨説明など

的場 澄人(北海道大学低温科学研究所)

14:10-14:50

「環境変化に関わる民族生物学の動向と実践的な研究計画について」

佐藤 靖明(大阪産業大学)

14:50-15:20

「ケニア／ウガンダの植民地前後からの居住形態の変化」(仮)

椎野 若菜(東京外大AA研)

15:20-15:35

休憩

15:35-16:05

「中国黄土高原の〈退耕還林〉政策による農村部の生業変化と民間芸術振興について」

丹羽 朋子(東京大)

16:05-16:35

「トマム雲の学校の取り組み」

中村 一樹(北海道大学)

16:35-17:05

「グリーンランドとアラスカの気候変動(仮)」

的場澄人(北海道大学低温科学研究所)

懇親会(会場近く、または札幌駅近くにします。)

1月7日(月)

9:30-10:10

「ウガンダ・ルウエンゾリ山の氷河縮小と微生物」

植竹淳(国立極地研)

10:10-10:50

「熱帯アフリカにおける社会変化と農業活動」

村尾 るみこ(東京外大AA研)

10:50-11:05

休憩

11:05-11:45

「ケニア共和国ヴィクトリア湖畔に暮らす人と蚊」

駒澤 大佐(長崎大)

11:45-12:25

「未定」

加藤 博文(北海道大学アイヌ・先住民研究センター)

12:25-13:00

まとめと討論など

出席の予定者

・妙木 忍(北大)(6日のみ)、梶丸 岳(学振特別研究員)